

平成 17 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ナ ガ ワ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 高 橋 修
 (J A S D A Q コード番号 9 6 6 3)
 問 い 合 せ 先 取 締 役 総 務 部 長 矢 野 範 行
 T E L 048 (648) 6111 (代 表)

平成 1 8 年 3 月 期 中 間 期 業 績 予 想 及 び 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 17 年 5 月 23 日 の 決 算 発 表 時 に 公 表 し た 平 成 18 年 3 月 期 の 中 間 期 (平 成 17 年 4 月 1 日 ~ 平 成 17 年 9 月 30 日) の 業 績 予 想 及 び 通 期 (平 成 17 年 4 月 1 日 ~ 平 成 18 年 3 月 31 日) の 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す の で お 知 ら せ い た し ま す。

記

1 . 連 結 の 業 績 予 想 数 値 の 修 正

(1) 平 成 18 年 3 月 期 中 間 期 (平 成 17 年 4 月 1 日 ~ 平 成 17 年 9 月 30 日) (単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1 0 , 9 0 0	9 4 0	5 0 0
今 回 修 正 予 想 (B)	1 1 , 5 6 4	1 , 2 6 5	6 9 1
増 減 額 (B) (A)	6 6 4	3 2 5	1 9 1
増 減 率 (%)	6 . 1	3 4 . 6	3 8 . 2
前 期 中 間 実 績 (平 成 16 年 9 月 期)	1 0 , 1 8 8	8 4 2	4 5 0

(2) 平 成 18 年 3 月 期 通 期 (平 成 17 年 4 月 1 日 ~ 平 成 18 年 3 月 31 日) (単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	2 2 , 5 0 0	2 , 2 5 0	1 , 2 0 0
今 回 修 正 予 想 (B)	2 3 , 5 0 0	2 , 6 0 0	1 , 4 0 0
増 減 額 (B) (A)	1 , 0 0 0	3 5 0	2 0 0
増 減 率 (%)	4 . 4	1 5 . 6	1 6 . 7
前 期 実 績 (平 成 17 年 3 月 期)	2 1 , 3 5 3	2 , 1 0 4	1 , 0 8 0

(注) 連 結 子 会 社 2 社 の 決 算 日 は 12 月 31 日 で あ り ま し た が 、 決 算 期 変 更 に 伴 い 3 月 31 日 と な り 、 前 中 間 期 の 連 結 会 計 期 間 (自 平 成 16 年 1 月 1 日 至 平 成 16 年 6 月 30 日) 、 前 期 の 連 結 会 計 期 間 (自 平 成 16 年 1 月 1 日 至 平 成 16 年 12 月 31 日) と 当 中 間 期 の 連 結 会 計 期 間 (自 平 成 17 年 4 月 1 日 至 平 成 17 年 9 月 30 日) 、 当 期 の 連 結 会 計 期 間 (自 平 成 17 年 4 月 1 日 至 平 成 18 年 3 月 31 日) が 各 々 異 な っ て お り ま す。

2. 個別の業績予想数値の修正

(1) 平成 18 年 3 月期 中間期 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	9,579	870	470
今回修正予想 (B)	9,906	1,196	653
増減額 (B) (A)	327	326	183
増減率 (%)	3.4	37.5	38.9
前期中間実績(平成 16 年 9 月期)	8,886	766	409

(2) 平成 18 年 3 月期 通 期 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	19,700	2,100	1,120
今回修正予想 (B)	20,500	2,500	1,360
増減額 (B) (A)	800	400	240
増減率 (%)	4.1	19.0	21.4
前期実績(平成 17 年 3 月期)	18,509	1,890	1,001

3. 修正理由

(1) 中間期業績予想の修正理由

個別の売上高につきましては、建設機械レンタル部門が計画を若干下回ったものの、主力のユニットハウス部門が、一般向け販売を中心に新棟・中古販売とも当初計画を上回ったほか、レンタル売上も民間設備投資の回復を受け好調に推移いたしました。この結果、全体の売上高は 9,906 百万円 (当初予想比 327 百万円、3.4%増) となる見込みです。

また、利益面におきましては、販売増による増収効果及びレンタル稼働率の向上によるレンタル粗利益率の改善により、経常利益は 1,196 百万円 (当初予想比 326 百万円、37.5%増)、中間純利益は 653 百万円 (183 百万円、38.9%増) となる見込みです。

なお、連結中間期業績予想数値につきましても、個別中間期業績予想数値を基に修正しております。

(2) 通期業績予想の修正理由

個別の通期業績予想につきましては、下期も引き続きユニットハウスの一般向け販売の増加が見込まれるほか、ユニットハウスレンタルにつきましても、民間設備投資の堅調に支えられ底堅く推移すると予想されることから、前回発表予想を上回る見込みです。

なお、連結通期業績予想数値につきましても、個別通期業績予想数値を基に修正しております。

上記の業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以 上